

# 福祉公社通信



## 3月号

発行日

平成 30 年 3 月 9 日

【第 60 号 (月刊)】

福祉公社は、武蔵野市が全国に先駆け、昭和 55 年に設立した在宅サービス提供機関です。

誌名「羅針盤」はご利用者を包括的に支援し、その人生と共に歩むサービスの基本姿勢を表したものです。

麗らかな春光の中、小鳥のさえずりも弾み、  
春が膨らむ弥生となりました。

この冬は例年になく厳しい寒さでしたので、  
ひときわ春の訪れが待たれました。

暖かさに春を感じると言う「気温の春」は  
これからが本番です。

季節の変わり目、皆様にはどうぞご自愛ください。



<紙面から>

権利擁護事業等運営監視委員会	……1ページ
高齢者総合センター 新春囲碁将棋大会	
北町高齢者センター 外食会	
みずきっこの子供たち いらっしゃーい	……2ページ
福祉公社 事業報告会 その1	
デイサービス ボランティア交流会 節分	……3ページ
お知らせ リレーコラム	……4ページ



## 権利擁護事業等運営監視委員会 報告



1月26日に今年度第2回の権利擁護事業等運営監視委員会が開催されました。

これは権利擁護センターが実施する成年後見事業、地域福祉権利擁護事業等における金銭出納やご利用者からの財物の保管等の諸事務の適正な執行を、外部委員が検査、監視するものです。監視対象期間は平成29年7月から同12月末日までです。

司法書士の勅使康友専門職委員が1月16日に新規の保管物、期間中のすべての金銭出納2,004件、入金・出金伝票の事前調査を行いました。その結果、事務は適正に実施されていると評価されました。

委員会では萱場理事長から「国が閣議決定した成年後見制度利用促進基本計画により地域連携ネットワークの中核機関を各市町村に設置することが求められている。市では次期健康福祉総合計画において検討を進めることとしており、当公社としても中核機関として指定を受けるためには、より一層、制度の適正な運営が求められる。今後も運営監視委員の助言等を得て事業の健全性・透明性を保っていきたい」と、今後の運営指針が提示されました。

各委員からは、「判断能力はあるが、身体が不自由な人の金銭管理をサポートする事業について」「権利擁護レスキューから移行するサービスの判断基準」「任意後見契約受任中の見守りの状況」「成年後見制度と長谷川式スケール」等多様な質問がなされました。

最後に棚橋委員長から「公社の理事者や職員の活動を広報で知り、頼もしく感じた。今後も本事業の対象者は拡大するだろうが、市には福祉公社があるので安心である」と講評されました。

今後も福祉公社は、権利擁護事業を通して、市民の皆様が安心して老後生活を送ることが出来るように、一層努力する所存です。



# 高齢者総合センター 新春囲碁将棋大会



高齢者総合センター新春恒例の行事として、1月26日に将棋大会、1月31日に囲碁大会が開催されました。囲碁・将棋界は現在世の耳目を集め、認知症予防への応用も考察されています。開催直前の大雪にもかかわらず、将棋大会に24名、囲碁大会に62名が参戦されました。選手は各4局ずつ対局し、盤上の格闘技の熱戦が繰り広げられました。

優勝者は将棋大会では佐藤進氏、囲碁大会は、一級以下の部は田村雅彦氏、初段から三段の部は青木亀男氏、四段以上の部は松本吉生氏でした。優勝、おめでとうございます。

初めて参加された方は、「自分より年長の皆さんの情熱がすごいと思いました。この熱気を感じていたいので、負けてしまいましたが、滅多にない機会なので最後まで観戦します」と閉会の写真撮影まで参加されました。

常連の方々は、「1年に2回のこの大会が日頃の励みになるんだよ」「この緊張がいいね」、とそれぞれの思いを胸に親睦を深めていらっしゃいました。

大会に参加された皆様、並びに運営にご尽力いただいた役員の皆様に厚く御礼申し上げます。次回大会は7月です。ふるってご参加ください。



将棋大会



囲碁大会

## 外食会

## 北町高齢者センター

2月14日に木曽路、その翌日は樓外樓にご希望者と参りました。

「ふだんは自宅とセンターしか行き来していないから、お出かけは嬉しいわ」「お上品な懐石コースね」

「まあ、美味しい中華」、食事中も会話が弾み、楽しいひと時を満喫しました。

往路、復路のルートにも一工夫、車窓から古刹・深大寺と周辺の早春の景色を楽しみました。



いろいろ豊かな食事



## ひな祭り みずきっこの子供たち いらっしゃーい

みずきっこの子どもたちがお雛様をプレゼントしてくれました。

正面玄関に子どもたちの手づくりお雛様をたくさん飾りました。毎日数名の親子が出来上がった作品を持参してくれました。

小さな子どもとの交流の時間は、ご利用者にとって格別に嬉しい時間となります。柔和で楽しげ、とても良い笑顔がたくさん見られました。今後も四季折々の行事を共同開催して、世代間交流を深めます。

また子育て世代に高齢者福祉や北町センターならではのボランティアマインドを学ぶ機会を提供し、共に歩んでまいります。



プレゼントのお雛様



# 福祉公社 事業報告会 その1

福祉公社では毎年1回、事業報告会を開催しています。各部署の業務内容や独自の取組みを発表し、部署間の相互理解や職員の資質向上を目的としています。

羅針盤では、全9部署の報告をシリーズ化し、発表内容を紹介いたします。

第1回目は権利擁護センターの「権利擁護分野での連携体制と地域における権利擁護センターの役割～市民が安心して生活するために～」です。

権利擁護センターへの相談や成年後見等受任件数は年々増加しています。平成28年度の相談件数は172件で、成年後見等の申立件数は53件でした。

今後も増加する相談に対応できるよう、担当業務ごとではなく、権利擁護センター担当職員の誰もが相談を受けられるように体制を変更しました。またこの分野の専門知識を深め、日々、資質の向上に努力しています。また、弁護士などの外部専門職による迅速な対応が求められる事案については、論点を整理し、相談対象者のニーズに的確に対応できるよう専門職に繋ぐ“橋渡し・仲介”の能力も求められます。権利擁護のニーズが増加する中、権利擁護センターではご本人の希望に寄り添った、包括的な支援を今後も行ってまいります。



## デイサービスセンター

### 節分

## デイサービスにも春が来た！

### ボランティア交流会

2月16日、配食・館内ボランティアの交流会を開催しました。民間配食サービス4社のお弁当と市販のレトルト介護食を試食しました。

試食だけで、やや、お腹一杯でしたが、デイサービスの昼食も賞味しました。ムース食を気に入ったボランティアさんは、「初めて食べたけど一番美味しかったわ。歯がなくても食べられるのね」とのご意見。和気あいあい、感想を述べ合います。

後半は、消費生活センターの坂本講師から「高齢者を狙う悪質商法の手口と対処法」を学びました。一番驚いたのはボランティアさんやご家族が詐欺の電話を受けている事実です。

悪質商法が身近に起きていることを目の当たりにして、家族や友達などに広く周知するのを感じました。



1. 欲を出さない
2. 見知らぬ人の親しげな接近に注意
3. 上手に断る（言い訳をしない）

この三対処法を、しっかり心に留めました。

2月3日、デイサービス開設当初からご協力頂いている田中ボランティアさんのご挨拶で節分会が始まりました。まず、折り紙の福田講師のご指導で鬼打ち豆を入れる箱を折りました。高幡不動尊でご祈祷を受けた豆は美味この上なしです。Sさんは箱にも自分のお口にも豆を入れてポリポリと・・・大笑い。鬼役は福田講師とスタッフです。虎皮のパンツとお面、金棒を持つと大迫力、「鬼は外、福は内、鬼の目ん玉ぶつつぶせ！」、元気な鬼やらいの声が響きます。



お福さん役のSさんと竹嶋中学生ボランティアの笑顔と春の歌で、会場が優しい雰囲気になりました。緑町に春が来ました。

演目の最後は、山形の民話「鬼の節分」を東北出身のスタッフが心を込めて朗読しました。それまで賑やかだった皆様でしたが、一転スタッフの東北弁に聞き入り、民話の世界に入り込んだようでした。とても楽しいひと時でした。



# 公社からのお知らせ

## 老いじたく講座 ～老いじたくの基礎知識～

誰にでも訪れる老いに備え、元気なうちから準備して、尊厳ある老後生活を築きましょう。

日時 3月29日(木)13時30分から15時00分  
場所 高齢者総合センター



## ～エンディングノート 書き方講座～

日時 4月13日(金)13時30分から15時00分  
場所 福祉公社1階 会議室

問合せ 在宅サービス課 権利擁護センター  
申込 ☎ 23-1165 参加費用は無料です。

## ご意見を承ります

お陰様で「福祉公社通信 羅針盤」も60号を発行することが出来ました。

ご愛読、有難うございます。

付きましては、皆様からのご意見、ご要望を承り、今後の紙面の充実に反映していきたいと思っております。

宜しくお願い申し上げます。

連絡先 総務課 広報担当

☎ 23-1165

Mail: kouhou@fukushikosha.jp



## 職員リレーコラム

### 第46回 《応援が心を動かすとき》



居宅支援係 田淵 清美

平昌五輪では日本選手の活躍は素晴らしく、凱旋インタビューでは、どの選手も「皆さんの応援のおかげです」と答えていたことが印象に残った。周りの応援や声援がどれほど心の支えとなりパワーを引き出すのか、私も仕事を通じ日々実感している。足が衰え、「近所の定食屋に行けなくなったら困る」とAさん。常連客同士の会話が生き甲斐だという。億劫そうではあったが「社会見学と思って」とデイサービスのお試しに行くこととなった。「あなたもいらっしゃいよ。すっごく楽しいわよ」と声をかけてくれた女性ご利用者がいた。周りのご利用者の方々もうなずく。「じゃ、私もここに来るか」と決心してAさんはデイサービスを利用するようになった。通所初日、真っ白なスニーカーを履き、お化粧している姿に、私は思わず心の中でガッツポーズ！Aさんのやる気を感じた。あのご利用者の方々の言葉かけがAさんの心を動かしてくれたのだ。Aさんは休むこともなく、今度は応援される側から応援する側になっていた。私も応援してくれる人の大切さを感じ、する側にもされる側にもなろうとおもう。 ⇒ 次回は 居宅支援係 山下 薫

編集・発行 公益財団法人 武蔵野市福祉公社

次号は平成30年4月10日発行予定です



### 武蔵野市福祉公社・ホームヘルプセンター武蔵野

東京都武蔵野市吉祥寺北町1-9-1

バス停「武蔵野八幡宮前」下車

☎0422-23-1165 (総務課、在宅サービス課)

☎0422-23-2611 (ホームヘルプセンター武蔵野)

### 武蔵野市立高齢者総合センター

東京都武蔵野市緑町2-4-1

バス停「武蔵野住宅」下車

☎0422-51-1975 (管理・社会活動センター)

☎0422-51-1974 (在宅介護支援・補助器具センター)

☎0422-51-2933 (デイサービスセンター)

### 武蔵野市立北町高齢者センター

東京都武蔵野市吉祥寺北町4-1-16

☎0422-54-5300 バス停「北町四丁目」から徒歩三分

業務時間 8:30~17:15 (全て共通)

福祉公社ホームページ

URL <http://www.fukushikosha.jp/>